

別紙2

区で想定するワークショップ参加者【例示】

①参加者・20代・転入して数年

【年齢・性別・家族構成】26歳・男性・単身

【職業／属性】メーカー総合職（営業）／転入2年目

【居住地】東陽

【価値観】

日常の使いやすさと水辺の余白に価値を感じ、生活者の視点で「等身大の便利さ」を人に伝えたい。派手さよりも導線や回遊のしやすさを重視。

【行動パターン】

平日夜は木場～門前仲町を軽くランニング、週末はカフェ→公園→スーパーの90分完結ルートが定番。

【SNS発信】

Instagram のストーリーズ中心（月2～3回）。

【ワークショップでの強み】

転入者が最初の3か月で困った／助かった点を具体化し、読者へ橋渡しできる。

②参加者・30代

【年齢・性別・家族構成】34歳・女性／既婚・子1（4歳）

【職業／属性】保育士（区内勤務）／転入5年目

【居住地】大島

【価値観】

こども目線の安全・休憩・トイレ・段差に敏感。親同士で教え合える実用情報を人に伝えたい。

【行動パターン】

週末は水辺→商店街→ベーカリーでコンパクト回遊。平日夕方は近所の公園の設備をチェック。

【SNS発信】

X（旧Twitter）で備忘録的発信（週1）。

【ワークショップでの強み】

子育て層の安心の判断軸を具体化できる。

③参加者・在住の学生

【年齢・性別・家族構成】18歳・女性・親と同居

【職業／属性】高校3年／区内在学

【居住地】亀戸

【価値観】

別紙2

友達に勧めたい江東区として、学生目線の価格感・写真映え・居心地のバランスを重視。

【行動パターン】

放課後や休日に亀戸・錦糸町・清澄白河エリアを自転車で回遊。保存した投稿から行動に移すタイプ。

【SNS発信】

Instagram リールで短尺 Vlog（月1）。

【ワークショップでの強み】

学生の可処分時間・金額に即した提案ができる。

④参加者・クリエイティブ職種

【年齢・性別・家族構成】29歳・男性・単身

【職業／属性】フォト・動画クリエイター（フリー）／転入1年目

【居住地】清澄

【価値観】

物語のある画を切り取って人に渡すことに喜びを感じる。水辺×産業の景観や朝夕の光に魅了され、「語り継げる江東区」を作品と発信で広げたい。

【行動パターン】

早朝・黄昏の撮影→編集→投稿→反応観察。合間にコーヒーとギャラリー巡回。

【SNS発信】

YouTube ショート／Instagram リール（週2～3本）。

【ワークショップでの強み】

ビジュアル起点で、読者が保存・共有したくなる「見せ方」を設計できる。

⑤参加者・在勤（区内で開業）

【年齢・性別・家族構成】40歳・男性・既婚

【職業／属性】製パン職人／店主（門前仲町・開業7年）／区内在勤・在住

【居住地】福住

【価値観】

地域の日常に根差す誠実さと手仕事に誇りを持ち、常連が観光客に自然と勧めたくなる関係性を重視。

【行動パターン】

早朝仕込み→昼ピーク→午後は商店街・祭礼・舟運の情報収集。

【SNS発信】

Instagram で新作・季節行事を告知（週2）。

【ワークショップでの強み】

地元の語り部として、暮らし×商い×季節行事を統合し、読者の等身大の街イメージを補強できる。